
様々な日常

グッピー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

様々な日常

【コード】

N0813E

【作者名】

グッピー

【あらすじ】

オールキャラで明るいものから暗いものまでいろんな話を書いていきます。(メインは明るいもの。)不定期連載です。

第1話・毛利蘭の料理教室！！（前編）（前書き）

最初の話は蘭が主役です。前編では蘭とある人しか出てきません。

第1話：毛利蘭の料理教室！！（前編）

私の名前は毛利蘭。得意なことは空手よ。空手では都大会と関東大会で優勝しているの。

そういえば私の知ってる人であることができない人がいるのよね。

その人は私のお母さんの妃英理。

別名法曹界のクイーン。

法廷では無敗記録を出しているみたいんだけど欠点があるの。

その欠点は料理。料理がとても下手でお父さんとお母さんが別居する原因にもなったみたい。でもそんなじゃお父さんとよりを戻したときにまたお母さんの料理のことでケンカして別居しちゃうかもしれない。

だからそれを阻止するために私はいろんなことを考えることにしたんだ。

とりあえず私はお母さんにいろいろ聞いてみたの。

「いつもごはんは何を食べているの？」って。

そしたらお母さんは

「ほとんどは自分で作っているけど、時間がないときはカップラーメンやインスタントとかを食べたりするわね。ときどき栗山さんに作ってもらったりもするわ。」

「それじゃあさ、ファミレスのごはんと自分で作ったごはんはどっちがおいしいと思うの？」

「ファミレスに決まっているでしょ？プロが作っているもの。」

はあーやっぱり気づいてないんだね、お母さん。自分が作ったごはんがあまりおいしくないってことを。一応お母さんが作ったごはんは食べれることは食べれるけど、味がちょっと変なんだよね。よし、私が今度お母さんに徹底的に料理を教えてあげるわ！！

第1話・毛利蘭の料理教室!! (前編) (後書き)

評価、感想よろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0813e/>

様々な日常

2010年10月9日22時55分発行